

会員各位

2025 年 5 月 吉日

腎臓病薬物療法専門薬剤師認定制度
対策委員長 志内 敏郎

2025 年 腎臓病薬物療法専門・認定薬剤師の認定に係る案内（新規）

2025 年の専門・認定薬剤師の認定は下記の認定資格に基づいて審査します。

試験日程は 2025 年 8 月 3 日（日）を予定しており、詳細が決まりましたら適宜ご連絡いたします。

◆認定薬剤師の認定資格

- （１）日本国の薬剤師免許を有し、薬剤師としての優れた人格および識見を備えていること。
- （２）薬剤師歴 5 年以上、申請時において 3 年以上本学会会員であること。薬剤師歴は医療機関での常勤並み勤務の通算とする。また、直近 2 年間は常勤並みの継続勤務を必要とする。^{注 1)}
- （３）日本腎臓病薬物療法学会が示す単位基準の修得単位が、受験年の直近 3 年間で 12 単位以上あること。^{注 2)}
- （４）日本腎臓病薬物療法学会、日本腎臓学会、日本透析医学会、日本医療薬学会、日本薬剤師会学術大会などの全国レベルの学会や関連する国際学会において、腎臓病および透析患者の薬物療法に関する学会発表が、申請年の直近 10 年間で 3 回以上（うち、少なくとも 1 回は筆頭発表者）あること。^{注 3)}
- （５）申請時に、直近 5 年間の 15 自験例を提出できること。^{注 4)} なお、学術雑誌で accept された、申請者を筆頭著者とする症例報告は、1 報に限り自験例として扱うことができる。日本腎臓病薬物療法学会誌または Renal Replacement Therapy 誌であれば症例報告 1 報と自験例 5 例、それ以外の学術雑誌であれば症例報告 1 報と自験例 10 例を要件とする。ただし、症例報告は認定期間中に accept されたもので、それを証明する書類を提出すること。
- （６）認定試験（筆記試験）に合格した者^{注 5)}

^{注 1)} 薬剤師歴 5 年以上とは、病院・診療所、保険薬局などの医療現場にて薬剤師として通算 5 年以上従事（勤務）していることを意味し、勤務状況を証明する文書が必要です。申請受付開始日から遡って 2 年間（2023 年 5 月 1 日～2025 年 4 月 30 日）は継続勤務（常勤並み）が条件となります。会員歴の 3 年以上は、2023 年度・2024 年度・2025 年度の会員であれば認められます。学会の会員年度は前年の 9 月 1 日～本年の 8 月 31 日で、2025 年度会員は 2024 年 9 月 1 日～2025 年 8 月 31 日の年会費を納めている人

です（ご自身の学会歴は学会事務局にご確認ください）。

注 2) 直近 3 年間とは、申請受付開始日から遡って 3 年間が対象となります。したがって 2022 年 5 月 1 日～2025 年 4 月 30 日の 3 年間となります。

注 3) 全国レベルの学会には地方大会などは含まれません。単位基準一覧に示されている大会での発表であれば間違いありません。また、発表内容は腎臓病および透析患者の薬物療法に関するものが主である内容でなければならず、その内容は厳しく審査されます。発表は申請者オリジナルの研究発表（一般演題）である必要があります。シンポジストや教育講演などは該当しません。

注 4) 直近 5 年間とは、申請受付開始日から遡って 5 年間が対象となります。提出方法は別紙「認定薬剤師の 認定資格における自験例・提出要項」を参照下さい。

注 5) 可否判定は自験例と筆記試験の総合評価で決定します。

◆専門薬剤師の認定資格

(1) 腎臓病薬物療法認定薬剤師として、腎臓病および透析患者の薬物療法などに関連する医療に 3 年以上携わっていること。注 6)

(2) 申請時において、本学会の会員であること。

(3) 日本腎臓病薬物療法学会、日本腎臓学会、日本透析医学会、日本医療薬学会、日本薬剤師会学術大会などの全国レベルの学会や関連する国際学会において、腎臓病および透析患者の薬物療法に関する学会発表が、申請年の直近 10 年間で 5 回以上（うち、少なくとも 2 回は筆頭発表者）、複数査読制のある国際的あるいは全国的学会誌・学術雑誌に腎臓病薬物療法に関する学術論文の投稿が 3 編以上（うち、少なくとも 1 編は筆頭著者）の全てを満たしていること。

注 6) 例えば 2021 年 8 月に認定された認定薬剤師は、2022 年・2023 年・2024 年の実績をもとに専門薬剤師の申請ができます。

◆2025 年 専門・認定薬剤師認定試験実施要項

申請受付開始日 2025 年 5 月 14 日（水）

申請締切日 2025 年 6 月 13 日（金）

試験日 2025 年 8 月 3 日（日） 10:00 受付 11:00 試験開始予定

試験場所 大阪コロナホテル（新大阪）

〒533-0031 大阪府大阪市東淀川区西淡路 1 丁目 3-21

【TEL】06-6323-3151（代）

試験時間 詳細は書類審査結果通知時に連絡いたします。

認定費用 書類審査料（症例審査料含む） 11,000 円（消費税込）

筆記試験受験料 16,500 円（消費税込）

※お振込頂いた認定費用は基本的に返金致しません。お振込時にご注意下さい。

※書類審査の通過後に筆記試験受験料をお振込みください。

振込先（振込間違いがないようご注意ください）

■ゆうちょ銀行

記号-番号：17160-19615681

店番：718（七一八）

種目：普通

口座番号：1961568

口座名義：日本腎臓病薬物療法学会

※振込手数料はご負担下さいますようお願い申し上げます。

※書類審査料納入の控えを添付して下さい。

申請書送付先：日本腎臓病薬物療法学会事務局 maf-jsnp@mynavi.jp

電子メールに申請書の PDF データを添付し、メール件名を以下の通りとしてください。

例 1：認定薬剤師申請書（氏名） / 例 2：専門薬剤師申請書（氏名）

申請書は以下 5 点にファイルを分け、ファイルタイトルを以下の通り設定してください。

- ①「（氏名）書式 1～7.pdf」
- ②「（氏名）単位証データ.pdf」単位証や参加証を時系列順（書式 2 に記載した順）に 1 つのファイルにまとめてください。
- ③「（氏名）自験例.pdf」
- ④「（氏名）学会発表要旨.pdf」該当ページを時系列順（書式 2 に記載した順）に 1 つのファイルにまとめてください。
- ⑤「（氏名）書類審査料納入写し.pdf」

出題範囲 薬剤師がチーム医療・地域医療において腎領域における薬物療法に貢献するために求められる医療薬学分野が対象。

<参考図書>

- ・添付文書
- ・インタビューフォーム
- ・日本腎臓病薬物療法学会編『腎臓病薬物療法ガイドブック 腎臓病薬物療法専門・認定薬剤師テキスト第 2 版』じほう
- ・平田純生ら編著『透析患者への投薬ガイドブック改訂第 3 版』じほう
- ・日本腎臓学会 編『CKD 診療ガイドライン 2023』東京医学社
- ・透析療法合同専門委員会編『血液浄化療法ハンドブック 2024』協同医書出版社
- ・大野能之ら編著『薬トレ 肝・腎』南山堂
- ・日本腎臓学会および透析医学会等の各種薬物療法に関するガイドラインなど

出題形式 多肢選択方式 100 問 試験結果の通知および登録

- ・ 認定委員会による審議ならびに理事会の承認を経た後、判定結果を通知します。
- ・ 認定試験に合格した方を腎臓病薬物療法専門・認定薬剤師として登録し、専門・認定薬剤師証を交付すると共に、本学会ホームページで氏名および所属施設名を公表します。